

## デジタル技術の活用及びDX推進の取組状況

### デジタル技術が社会や当社の競争環境に与える影響について

デジタル技術の進歩はめざましく、今や、パソコンやスマートフォンやインターネットが生活や事業活動を行う上で不可欠なツールとなっています。今後もデジタル技術は進展し、我々にとってさらに重要なインフラ・経営資源になる事は明らかです。

このような社会状況の中、お客様のお役に立てる配食事業者として事業を成長発展させるためには、デジタル技術を活用した生産性の向上とお客様の利便性の向上が不可欠であると考えております。

### 経営ビジョン

堅牢なセキュリティー体制の整備を前提に、お客様情報や事務管理の全てをデジタル化し、迅速且つ正確なサービスを提供できる体制を構築致します。

これにより、お客様の利便性の向上と満足度の向上及び、当社の生産性の向上を図り、美味しく安全な高齢者様向け食事を安定供給できる事業者として、末永くお取引して頂ける企業を目指します。

### 経営及びデジタル技術等の活用の具体的な方策(戦略)

「お客様が毎日のメニューの確認や発注業務を容易に行えるクラウドシステム」を構築します。これにより、お客様の利便性向上と当社の事務作業の生産性を大幅に向上させ、より高品質なサービス提供が行える体制を構築します。

### 戦略を効果的に進めるための体制

取締役中山久雄がCIO（最高情報責任者）を兼務し、CIOをリーダーとした情報システム部門（プロジェクトチーム）を発足します。

ITコーディネータ有資格者1名以上とITパスポート資格者1名以上を情報システム部門に所属させます。

社内外の研修や勉強会に従業員を参加させ、情報システムに精通した人材を育成します。